

「国保直診のありたい姿」 具体的事例収集のためのアンケート

自施設あるいは他施設で取り組まれている活動事例で、次の項目①～項目⑤に当てはまるような具体的事例をご存じでしたら教えてください。

なお、本調査票では3つまで事例を記入いただけます。4つ以上の事例をご紹介いただける場合は、複数のファイルを作成いただきますようお願いいたします。

回答者氏名：	後藤 忠雄
回答者メールアドレス：	XXX@XXX.jp

事例 1	大項目：	【項目①】 周辺施設あるいは団体との連携に関する具体的事例		
	関連小項目：	3、4	←右表を参照し、大項目に関連する小項目を番号（数字）で回答ください	
	施設名：	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	都道府県：	岐阜県
	取り組み内容：	郡上市、高山市、白川村の2市1村が社員となった地域医療連携推進法人を立ち上げ、この2市1村内にある国保病院と国保診療所で広域的ネットワークを形成し、相互支援体制の中でこの地域の地域包括医療・ケアにかかわるとともに、国保病院を基幹医療機関として設定することで医師を含めたメディカルスタッフの在籍型出向により人事交流を行っている。		
事例 2	大項目：	【項目①】 周辺施設あるいは団体との連携に関する具体的事例		
	関連小項目：	5	←右表を参照し、大項目に関連する小項目を番号（数字）で回答ください	
	施設名：	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	都道府県：	岐阜県
	取り組み内容：	郡上市歯科医師会と契約し、月1回入院患者の口チェックを行い、誤嚥性肺炎予防に取り組むとともに、必要に応じて歯科診療につなげている。		
事例 3	大項目：	【項目③】 人材確保・育成に関する具体的事例		
	関連小項目：	5	←右表を参照し、大項目に関連する小項目を番号（数字）で回答ください	
	施設名：	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	都道府県：	岐阜県
	取り組み内容：	小学生を対象とした「わくわく病院探検ツアー」に始まり中学生を対象とした「医療介護系進学セミナー」、県内高校生を対象とした1泊2日の「岐阜県へき地医療研修会」、地元高校と連携し高校側のデュアルエデュケーションシステムとタイアップした高校在学中の「介護職員初任者研修」、医学部看護学部などの学生受け入れ、研修医の地域医療研修受け入れ、総合診療系プログラムの設置、日本最小規模の看護師特定行為研修と小学生から連続的に医療介護人材育成に取り組んでいる。		